

広報 なかやま



今月の主な内容

- 元祖芋煮会in中山 P2~3
- すもも関連記事 P4~5
- 9月定例議会 P6~9
- 山形県ドクターヘリの運航が始まります P10

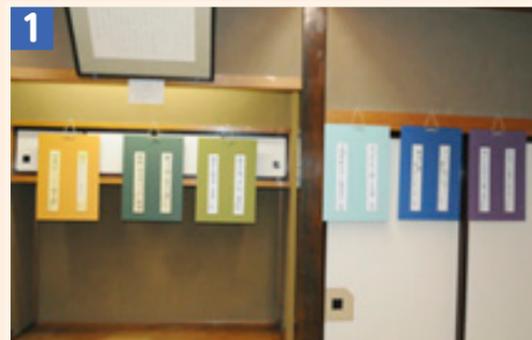
2012
10 平成24年
No.697

今回は俳句の「真珠句会」の皆さんをご紹介します。
真珠句会は昭和52年から活動を開始。今年で発足35年になります。
真珠句会の主な活動は月に一度開催される句会。自作の俳句を持ち寄ってお互いに感想を述べ合い、優れた作品を称え合っています。「句会で作品を披露し、感想をもらうこと」で句作が練られ、俳句の面白みや魅力がわかってきます。難しく考えず、気軽に5・7・5を作ってみるのは楽しいことです」と代表の秋葉さん。
初めてという方も、真珠句会の皆さんと俳句に慣れ親しむことから始めてみませんか。
★活動日 毎月第4土曜日
★活動内容 月例会、旅行など
★代表 表 秋葉芳見(元町)
★会員数 8名
★一緒に活動してみたい方は秋葉芳見さん(☎66212898)まで。
※紹介したい趣味をお持ちの方は、総務企画課情報防災グループ(☎66214899)までお知らせください。

趣味のひろば ~第17回~ 俳句

会員の皆さんの作品

- 終電の植田に映る駅灯り 穂積 薫
- 春愁の鏡に残る指の跡 青木 智子
- 春風を紡いで着たや旅衣 今野 允彦
- たわむれの砂の造形雲の峰 長岡 白峯
- 花も葉も実も紫に茄子の畑 太田 文生
- 工事場の音も止んでる油照り 東海林光代
- 打ち水をしている間にも汗滲む 伊賀 良男
- 風渡りそよぐ青田や黄ばみそむ 秋葉 芳見



【1】昨年秋の芸文祭での作品展示の様子 【2】会食の様子。和気あいあいとした雰囲気です。

あなたの自慢したい作品を町ホームページ「あがらっしいギャラリー」のコーナーで展示してみませんか？

このコーナー以外でも、あなたの趣味で創作、撮影した自慢したい作品を町ホームページに展示することができます。応募方法など詳しくは町ホームページ⇒「あがらっしいギャラリー」(<http://www.town.nakayama.yamagata.jp/kouryu.html>) ⇒「利用のきまり」をご覧ください。

広報
なかやま 平成24年10月15日号 (毎月15日発行)

発行：中山町(山形県東村山郡中山町大字長崎120 電話023-662-4899(直通))
編集：中山町総務企画課情報防災グループ 印刷：大場印刷株式会社
中山町ホームページ：<http://www.town.nakayama.yamagata.jp>



今年も
会場にはたくさんの
笑顔が集まりました



in 中山 芋煮会 元祖

9月8日、最上川せせらぎ公園で第5回目となる「元祖芋煮会in中山」が開催されました。このイベントは、町内外に中山町が「芋煮会発祥の地」であることをPRし、発祥の地で芋煮会を楽しんでもらおうと毎年開催しているものです。

当日はさわやかな秋晴れとなり、町内外から1000人以上の方の参加がありました。会場には、中山町の町章をかたどった花壇を囲むように団体テントや自由テントが張られました。

イベントは、中山玄藩太鼓振興会の皆さんによる太鼓演奏で幕開け。太鼓の軽快なリズムが会場を盛り上げました。

開会后、町食生活改善推進協議会の皆さんにより、棒鱈を使った「芋棒煮」が先着200名に無料提供され、配布会場には多くの人が集まり、200杯の芋棒煮はあっという間になくなりました。「芋棒煮」とは、江戸時代に最上川舟運の船着場であった長崎で船頭たちが作った、芋煮の元祖といわれるものです。芋棒煮を試食した方からは、「いつも食べている芋煮よりも薄味であっさりしているので、どんどん食べられる」と大変好評でした。

また、出店スタンプを集めた方と町観光協会のツイッターをフォローしてくださった方にエコシートのプレゼントや、最近のエコブームで注目を浴びているふるしきの活用方法を町商工会女性部の皆さんがワークショップで紹介しました。

その他、輪投げコーナーやミニS Lコーナー、抽選会と、子どもから大人まで楽しめる催し物がたくさん。会場には、終始笑い声と歓声が響いていました。



秋の極上すもも

「秋姫」

中山町は、すももの生産量東北一を誇り、大石早生、ソルダムなど様々な種類のすももが生産されています。

すももの女王と呼ばれる「秋姫」は、中山町で生産されるすももの中でも特に人気の品種。大石早生やソルダムよりも1.5倍ほど大きく、味が濃厚で甘みがあり、果汁たっぷりで見みずしいことが特徴です。

晩成品種なので、9月中旬から下旬にかけて収穫。甘酸っぱくてさっぱりとしたさわやかな味が夏の終わりと秋の訪れを感じさせます。

皮ごとがぶりで体にいいこといっぱい

「秋姫」は、ジャムなどの加工品にしても美味しいのですが、なんとと言っても一番美味しい食べ方は「皮ごとがぶり」だと生産者の方は口をそろえます。

皮ごと食べると果汁がこぼれず、口いっぱい甘い果汁とさわやかな香りが広がります。「皮ごとがぶり」は美味しいだけではありません。

せん。

「秋姫」をはじめとするすももの皮には、毛細血管を強化したり、目の疲れを回復すると言われるアントシアニンが含まれています。

また、果肉に含まれるクエン酸には強い殺菌作用や活性酸素の働きを抑制する作用があり、皮と一緒に食べることで血液の浄化に働いて血栓を防ぐ、肝機能を強化するなど多くの作用が得られます。

生活習慣病の予防にも

さらに、すももには水溶性食物繊維のペクチンが豊富に含まれています。

ペクチンは糖尿病の予防効果や、コレステロールの上昇を抑制する働きがあるので生活習慣病の予防に効果が期待できます。

美肌づくりの助けにも

ペクチンには、整腸作用や便秘予防の効能もあり、クエン酸には疲労回復、新陳代謝促進に効能があります。体から老廃物を排出し、新陳代謝を促進することで美肌づくりの助けにもなります。

まさに、すももは美容と健康の保持にぴったりの果物と言えるのです。

(参考文献:「春夏秋冬おいしいクスリ旬の野菜の栄養事典」エクスマレッジ、「毎日の食事がからだに効く!食の医学百科」主婦と生活社)



「おいしくてほっぺたが落ちちゃう!」

農家の皆さんありがとう

9月19日、町内の小中学校で「地産地消給食」が実施され、児童・生徒に豊田地区で収穫された「秋姫」が振舞われました。秋姫は、食べ物と生産者に感謝し、地域への理解を深めてもらうとうと、町地産地消推進協議会から提供されたものです。

当日は、豊田小学校に同協議会事務局の方や生産者の方が招かれ、2学年の児童と一緒に給食を食べました。児童たちは、真っ赤に色づいて、まさに食べ頃のすももを前に「真っ赤でつやつやしてきてきれい」「とつても甘くておいしい。もっと食べたい!」と大喜び。生産者の渡辺義政さん(土橋)は「今年は大雪で、すももの枝が折れたり、夏は厳しい暑さと雨が降らなかった影響で、実が思うように育たなかったら大変な思いをしました。すもも作りは苦勞もあるけれど、皆においしいと喜んでもらえることが一番幸せです」と嬉しそうでした。

お試しく下さい「すもものぼん酢」

9月1日、新たなすもも加工品「すもものぼん酢」がお披露目されました。「すもものぼん酢」は、昨年10月に町商工会青年部が企画、製造した「すももの雫」を改良したものです。

商工会青年部では、数年前からすもも加工品の開発に取り組み、話し合いや試作を重ね、昨年すもも果汁入りしょうゆ「すももの雫」が完成。その後さらに改良を重ね、すももの酸味を活かし、さっぱりとした味の「すもものぼん酢」が完成しました。

町内産の大石早生を使い、マルタ醸造(寒河江市)が製造。180ml入りで1本600円です。

現在は中山町情報物産館 **〇っと**、ゆ・らら、商工会青年部事業所でのみ販売。順次、販売店舗を増やしていく予定です。ぜひお試しください。

お問い合わせ先
町商工会 ☎662-2207



甘酸っぱくてさわやか! すももワインが大好評



9月13日、YBCの旅番組「やまがた発!旅の見聞録」(9月29日放送)のため、タレントのエドはるみさんが中山町を訪れました。

撮影場所は中山町情報物産館 **〇っと**。店内で豊田地区で収穫された「秋姫」を試食しました。エドさんは、「すももを食べたのは子どもの時以来。その時の印象が強くて、すももはただただすっぱいというイメージだったけれど、中山町の秋姫は甘くておいしい」と絶賛。

また、すももの加工品である「すももスパークリングワイン」も試飲。「甘酸っぱくてさわやかで、こんなに飲みやすいワインははじめて。すももの味がアルコールに負けていないので、お酒の苦手な方や女性もどんどんいけますね!」と大変気に入った様子でした。

■歳出

	補正額	主な補正額の内容	
総務費	144万1千円	農業集落排水管理システム移設等工事	45万9千円
民生費	△3,874万3千円	地域福祉基金積立金	11万円
		介護基盤緊急整備補助金	△4,000万円
衛生費	520万円	ポリオワクチン接種委託料	139万1千円
労働費	53万2千円	勤労文化センター雪止めアングル設置工事	48万3千円
農林水産業費	211万7千円	豊田地区農業集落多目的集会所等屋根修繕等工事	185万6千円
商工費	150万円	ひまわり温泉修繕料	126万9千円
土木費	△828万円	町道用地購入費	72万円
		公共下水道事業特別会計繰出金	△1,073万7千円
消防費	126万5千円	警鐘台撤去工事	70万8千円
教育費	5,360万2千円	中山中学校整備基金積立金	5,003万円
災害復旧費	4,843万3千円	道路橋梁災害復旧工事	4,843万3千円
予備費	7万2千円		

■特別会計の補正予算

	補正額	主な歳出補正の内容		補正後の予算額
国民健康保険	6,383万2千円	国庫負担金返還金	2,744万3千円	13億5,132万8千円
後期高齢者医療	8万7千円	保険料等負担金	8万8千円	1億1,552万4千円
介護保険	1,917万4千円	介護給付費準備基金積立金	921万9千円	10億3,781万円
農業集落排水	232万2千円	農業集落排水処理施設管理基金積立金	111万2千円	8,090万5千円
公共下水道事業	1,402万7千円	管路点検業務委託料	820万円	4億6,270万2千円

3. 条例の制定

中山町災害対策本部条例等の一部を改正する条例の制定

4. 規約の変更

山形県後期高齢者医療広域連合の規約の変更

5. 中山町教育委員会委員の選任

中山町教育委員会委員に工藤春男氏と石川浩司氏を再任することに同意

6. 中山町固定資産評価審査委員会委員の選任

中山町固定資産評価審査委員に服部武彦氏を再任、山下勝博氏を新たに選任することに同意

問 私は議員になり1年であるが、町施設の窓口業務等についての、挨拶や窓口で待っているときの態度など、様々なクレームをいただいた。
町の施設で窓口業務を行う職員は町の顔であり、窓口の対応が悪ければ、町全体がそういう目で見られることを意識しなければならぬのではないかと。
そこで、町における職員研修について、次の3点を伺いたい。
① マナー・接客に関する職員研修は、どのように行われているか。
② サービス向上の研修(単なる講習ではなく実務的な研修)の予定はあるか。
③ 町施設における町職員以外の従事者の研修について、町で管理する予定はないか。

答 窓口の対応は「親切、丁寧、かけ」を行うよう指導しています。接客についてはクレームがあることは大変残念なことです。町の立場に立った親切できめ細やかな

鎌上 徹 議員



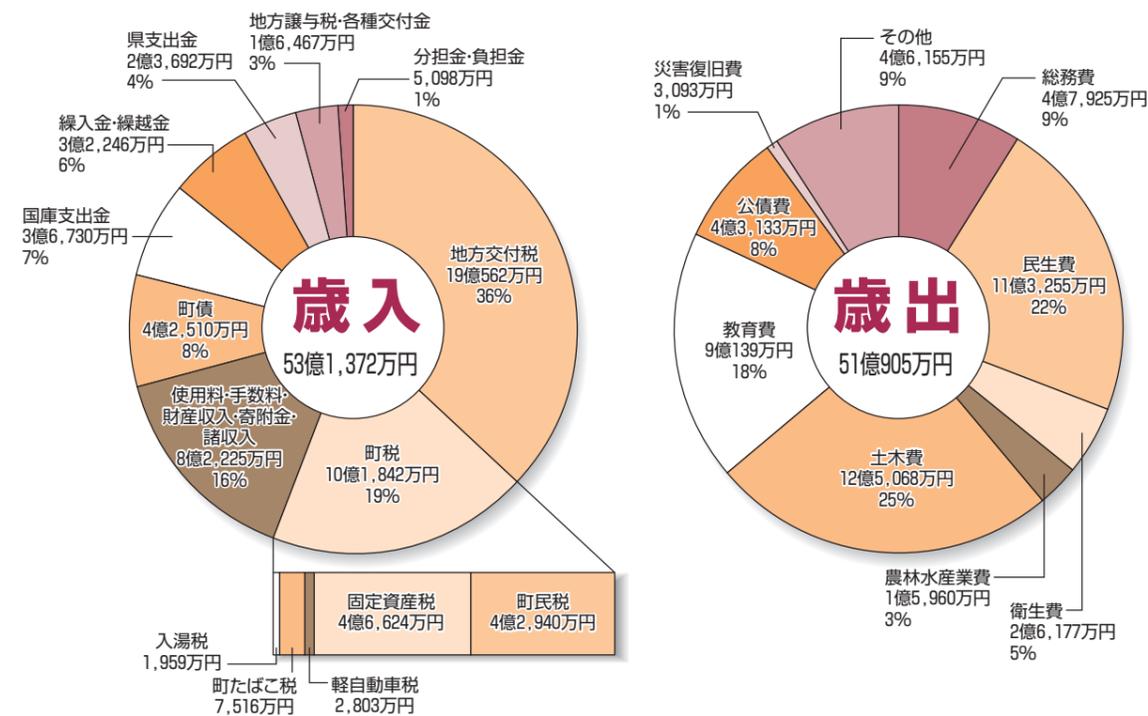
一般質問

9月定例議会

平成24年9月町議会定例会は、9月12日から14日までの日程で開かれ、次の内容について審議され可決されました。概要は次のとおりです。

1. 平成23年度決算の認定

●一般会計の決算



●特別会計の決算

	歳入	歳出	差引残額(繰越額)
国民健康保険	12億1,007万円	11億4,787万円	6,220万円
後期高齢者医療	1億686万円	1億667万円	19万円
介護保険	9億4,630万円	9億2,711万円	1,919万円
農業集落排水	8,833万円	8,251万円	582万円
公共下水道事業	4億7,007万円	4億4,612万円	2,395万円

2. 平成24年度補正予算

●一般会計の補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ6,713万9千円を追加し、予算総額を48億6,283万5千円としました。

■歳入

地方交付税	4,197万5千円
国庫支出金	2,909万円
県支出金	△3,999万8千円
寄附金	7万円

繰入金	△6,300万円
繰越金	8,090万7千円
雑入	359万5千円
町債	1,450万円

かな対応を心がけると共に、職員等の資質の向上を図り、より良いサービスの提供に努めていきます。

①町独自の研修については、民間企業の講師による全職員対象の接遇研修を実施したり、新規採用職員に対する接遇研修の充実を図っているほか、電話応対マニュアルを作成し指導しております。

②町民の視点に立ったサービスを提供することは最も重要な課題であり、相手の立場に立った誠実な対応が求められています。今後、全職員対象の極めて実践的な接遇研修等を行い、住民サービスの向上に取り組めます。

③委託先の事業者と連携・協議の上、町職員と同様の内容で、マナー・応対の研修に取り組みよう、働きかけたいと考えています。

②優秀町民等を町ホームページに

問 スポーツで東北大会や全国大会に出場する方の垂幕設置は実現していただいたが、スポーツに限らず文化その他の活動で活躍されている方は沢山いる。プライベートの問題もあるが、町のホームページ(以下、HP)にコーナーを作り、素晴らしい成績を残した方の写真やコメント等を掲載し、栄誉を称えてはどうか。

答 スポーツや文化活動などで活躍された方については、「広報なかやま」に随時掲載し紹介しており、「広報なかやま」は

町公式HPにも掲載されておりより広くご覧になることができます。優秀な成績を残した方を広く紹介することは大変有意義なことです。掲載基準や個人情報保護に留意しながら、町公式HPに掲載し、広くその活躍を町内外へお伝えしていきたいと考えています。

渡辺 博文 議員



①町の先進医療の考え方について

問 先進医療は劇的な治療効果が期待できるものの、全額自己負担であるため、施術を受ければ治る見込みがあっても、経済的な理由で断念し亡くなる方もいる。今後、先進医療を希望する町民が増えることも予想されるが、町として何らかの対策ができないか。

答 先進医療に係る費用は全額自己負担となっておりますが、療養全体に係る費用のうち基礎的部分については保険給付を行うとする制度改革が平成18年に行われました。先進医療の保険適用については、厚生労働省が未だ調査検討中であり、現時点においては、町が責任ある回答を申し上げることは適当でないと考えています。

②町の顔について

問 国道112号線沿いの雑草が伸び放題となっており、中山町の印象にも悪影響を及ぼすことから、町として何らかの対策ができないか。

答 道路を管理している山形河川国道事務所・寒河江国道維持出張所等によると、全国的に道路関係予算は減少し、草刈り作業等は縮減せざるを得ない状況のことです。町が国道用地の一部を借り受けひまわりを植栽したり、町が管理者に代わり駐車スペース花壇を管理している場所もありますが、ご質問の件はこれまでも同様に町としての要望や道路利用者の声を道路管理者に伝えたいと考えています。

問 町のホームページ(以下、HP)はきちんと更新されているが、リンクを張っている団体のHPの中で何年も更新されていないものが見受けられる。そういった団体に指導するなり、リンクを削除するといった対策を町として考えているのか。

答 長い期間更新されていない町内の団体については更新するよう指導を行い、それ以外の団体についてはリンクを外すことなどを含め、HP全体を定期的にチェックしたいと考えています。

問 中山町民歌は、町民でも知らない方が多く、歌える人

に限っては特定のごく少数の方しかおらず、大変残念に思う。この立派な町民歌をもっとPRし、広く町民に知ってもらい歌ってもらうことが必要ではないか。

答 町民歌は、中山町誕生30年、中山氏入部600年の記念事業の一つとして、昭和59年に町議会の議決を経て制定されたものです。町と縁のある服部公一先生にお願いしたもので、明るく親しみやすいフレーズで歌い上げる素晴らしい町民歌です。

これまで、学校行事や芸文祭で普及を図ったり、各種式典や会議等での斉唱が行われていますが、今後は、教育委員会と相談のうえ小中学校での普及や、各種大会や事業においてこれまで以上に町民歌を紹介する機会を増やすなど、一層の普及に努めたいと考えています。

堀川 政美 議員



①町の基本計画の実現策について

問 第5次中山町総合計画は、地方自治法に基づく基本構想策定義務化廃止後も、町の最上位計画として変わりはないか。

答 総合計画は、町の将来を見据えた将来像とその実現への方策にあることから、町民と共有するまちづくりの指針として、

町の最上位に位置付けられる計画として変わりが無いものと考えています。

問 総合計画策定後、2年目となるが、基本計画及び実施計画の実現に向けた今後の取り組みの考え方を伺いたい。

答 現在、PDCA(P:計画、D:実行、C:評価、A:改善)サイクルの一連の管理制度により事務事業を決定しており、これにより、総合計画の着実な推進を図ることができると考えています。具体的には、全事業の4年間の事業計画を町長が査定し事業認定を行ったうえで、次年度の予算要求を行い、翌年度に実施済みの事業を評価し、改善点を洗い出し、その後の事業計画に活かすという制度で、事業の「選択と集中」により、限りある予算を有効活用するものです。

問 基本計画の中には、「みんな目指そう協働の指針」が盛り込まれており、実現のためには住民参加型の検討会等が必要ではないか。

答 住民参加型の検討会は有力な方策の一つであり、今年度は中山中学校建設検討委員会をはじめ、各種検討会等が運営されています。それらは協働によるまちづくり大きく寄与するものであり、今後も機会を捉えて住民参加型の検討会を設けたいと考えています。

②「ひまわり元気のさと」を利用した健康づくりについて

問 元気のさとの施設を活用し、専門員による各種のトレーニング指導や、健康相談・食事指導、医療機関等の専門知識を組み合わせた健康増進プログラム、各施設の運動プログラム作成、ゆ・ら・らの温泉を活用した予防医療等の健康づくりを考えてはどうか。

答 町民の健康維持増進、医療や介護予防の観点から、スポーツや各運動施設を健康増進事業に関連づけた考え方は大事なポイントです。ヘルスアップ講座等の事業で総合体育館を活用するなど、できることから実施したいと考えており、健康と福祉のフェスティバルでは、健康ウォーキングを開催する予定です。

健康増進プログラム作成等の医療機関への協力要請については、業務負担が多くなっている中で非常に困難な状況にあり、施設毎の運動プログラムの作成や温泉を活用した予防医療の健康づくりについても、現実的には大変困難であると思われまます。

なお、運動や健康増進、温泉の効用などのPRを図るため、元気のさとを出発点としたウォーキングの町内モデルコースの設定や、正しいウォーキングの姿勢、正しい温泉の入浴法などを紹介するチ

ラシの作成を、来年度に向けて検討することとしています。

西塔いく子 議員



①石子沢川の整備を町としてどのように考えているか

問 石子沢川は、一級河川で国や県の管理下にある。柳沢地区内を流れているということもあり、地域住民は年に2回の草刈りを行うなど水の流れや汚れには大変気をつけている。石子沢川の水もきれいになり、ハヤが群れを作って泳いでいたり子ども達が釣りを楽しんでいるのを時々見かけるようになった。

子ども達を自然の川で遊ばせてやりたい、川の流れを良くしたいという願いから、マスのつかみ取りを町からも補助を受け、ここ数年実施している。

それを一歩前進させ、自然の魚を子ども達が網で獲れる川環境づくりをすることに、町では手を貸せないだろうか。

答 町では、石子沢川流域全体の総合的な安全性向上という観点から、長年にわたり石子沢川の管理者である国土交通省及び県に対して整備を要望してきま

した。平成22年度から今年度まで、柳沢集落内を重点的に、堆積土砂の

②脳ドックの啓発と助成を考えてはどうか

問 脳卒中は、がん・心臓病とともに三大疾病の一つとなっている。

脳ドックは保険がきかないために受けるチャンスもなく情報も少ない状況にある。一日ドックでは、がんや心臓病はチェックできるが、脳卒中は脳ドックでなければ難しい。

脳の病気が高齢者だけの病気ではなく、30歳を過ぎたらドックは受けたほうが良いと言われている。発症の多い脳卒中を予防するため、脳ドックへの助成や啓発活動等をする考えはあるか。

答 脳ドックの効果については、十分な認識していませんが、様々な課題もあります。一般的には少額の助成では効果が低いこともあり、助成の額・助成対象者についての検討や、実施後のフォロー体制等を整備する必要があります。

さらに財政上の理由からも、脳ドックの助成については、当面実施することは困難と考えます。

中山中学校体育祭

9月1日、中山中学校で毎年恒例の体育祭が開催されました。

この日は青空が広がり、絶好のスポーツ日和。

全校生徒は赤、白、黄、青の4つのチームに分かれて、リレーや綱引きなどの種目で精一杯の頑張りで見事なチームワークを見せてくれました。

1年生の女子生徒は「体育祭をきっかけに、隣のクラスの人と友達になれたし、部活以外の先輩とも話すことができた。体育祭で築いた絆をこれからも大切にしたい」と話していました。



なかやま保育園運動会

9月22日、なかやま保育園で運動会が開催されました。

園児たちは、保護者らの声援を受けながら、かけっこやリレー、障害物競走などの種目に挑戦。一生懸命頑張るかわいらしい姿を見せてくれました。

プログラム中盤の「あ

おぞら太鼓」では、年長児が心をひとつに見事な太鼓演奏を披露。年長児のみんなは、運動会での演奏のために毎日練習に励んだそうです。保護者は、息の合った演奏に感動するとともに、子どもたちの成長に目を細めていました。

その他、保護者や祖父母が参加する種目もあり、会場のなかやま保育園グラウンドには、最後まで声援と歓声が響いていました。



身障グラウンド・ゴルフ大会

9月25日、ひまわりグラウンド・ゴルフ場で「第11回身障グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

結果は次のとおりです。



写真右から高橋紀子さん（優勝）、結城健一さん（準優勝）、渡辺文雄さん（3位）、鈴木光雄さん（敢闘賞）

分団対抗グラウンド・ゴルフ大会

9月30日、ひまわりグラウンド・ゴルフ場を会場に「第2回分団対抗グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。結果は次のとおりです。

	優勝	第2位	第3位
分団の部	金沢分団	土橋分団	第6分団
個人の部（一般）	石澤健三郎さん （第4分団）	長谷川 昭さん （第3分団）	佐藤つや子さん （第2分団）
個人の部（子ども）	松田 琉杜くん （第6分団）	鈴木 真大くん （金沢分団）	鈴木 凱登くん （柳沢分団）



分団の部優勝の金沢分団

11月15日 山形県ドクターヘリの 運航が始まります

ドクターヘリとは？

医療機器や医薬品を搭載した小型ヘリコプターに、救急医療の専門医と看護師が搭乗し、一刻も早く患者に救命治療を行う医療専用のヘリコプターです。また、機体も小型であるため、救急現場近くの学校のグラウンドや駐車場などを臨時的離着陸場（ランデブーポイント）として、直ちに救命治療を行います。



ドクターヘリ運航概要

- **基地病院** 県立中央病院（救命救急センター）※病院敷地内にヘリポート、格納庫を整備
- **運航時間** 原則として午前8時30分～午後5時15分（季節により多少変わります）
- **運航範囲** 県内全域をほぼ30分でカバー（災害時は県外への医療支援を行う場合があります）
- **運航要請** 消防機関が患者の重症度を判断して要請します。一般の方が直接ヘリを要請することはできません。
- **運航費用** ドクターヘリによる搬送自体の費用はかかりませんが、治療に要した医療費については、通常の医療費と同様に請求されます。また、治療に使用した医療資機材の返送費用等、医療保険の適用外となる費用について、実費をご負担いただく場合があります。

町内のランデブーポイント

1 最上川東村山地区河川防災ステーション内ヘリポート	6 豊田小学校グラウンド
2 中山公園	7 長崎小学校グラウンド
3 最上川中山緑地	8 中山中学校グラウンド
4 ひまわりグラウンドゴルフ場	9 なかやま保育園駐車場
5 中央公民館駐車場	

皆さんへお願い～安全な運航のために～

- ヘリコプターの特性上、運航および離着陸の際には吹き降ろしの強い風や騒音、砂塵などが発生します。消防職員等の誘導に従いヘリコプターが離着陸する場所から離れてください。また、吹き飛ばされやすいものは室内にしまって、窓を閉めてください。
- ヘリコプターが着陸後、ただちに救命治療を行いますので、近寄らないでください。

ドクターヘリの重要な役割をご理解いただき、安全で円滑な運航にご協力ください

お問い合わせ先 健康福祉課健康づくりグループ ☎662-2836



身近なパワースポット 石子神社

9月9日、柳沢地区にある石子神社で例大祭が行われました。

石子神社は、実は知る人ぞ知るパワースポット（心身を癒す助けとなる、自然のエネルギーに満ちた場所のこと）。子授け・安産の神様が祀られており、そのパワーが口伝で広がり、県外からの参拝者も多く訪れます。また、町に伝わる昔話の舞台にもなっています（下段）。

例大祭には、子どもが授かったとお礼の参拝に訪れた夫婦のほか、町内外から子授け、安産、子どもの健やかな成長などを願う多くの方が足を運び、それぞれの願いを込めて参拝していました。地元はもちろん、多くの方々心のよりどころとなっている石子様。散歩がてら、石子神社に足を運んでみてはいかがでしょうか。



【1】石子神社境内に続く石段は100段以上。休憩しながら登りましょう。【2】石段の中腹に立つ鳥居。拝殿までもう少しです。【3】石段を登りきると眼下には素晴らしい景色が広がります。晴れた日は木漏れ日がきれいです。【4】・【5】例大祭には多くの参拝客が訪れました。「ここに来ると元気をもらえる気がするので毎年来ている」という人も。【6】拝殿に祀られているたくさんの石。子を授かりたいと願う夫婦には石を1つ貸し、子を授かったら川原から石をもう1つ拾い、2つにして返してもらうことになっています。拝殿には神社のご利益を物語るように多くの石が祀られていました。

町に伝わる昔話

「石子さま」

むかし、柳沢の村に忠助とおきよという夫婦がおりました。夫婦は大変な働き者。そのかいあって不自由な生活を送っていましたが、なかなか子どもを授からず、寂しい思いをしていました。

ある秋の夜のことです。二人の枕元に神様が現れ、川で身を清めるようお告げがありました。二人は神様のお告げ通り近くの沢に入り、毎日祈る気持ちで禊ぎを続けました。

ある日、いつものように水につかっているとどこからか赤ん坊の泣き声が聞こえるではありませんか。二人が泣き声のする方に近づくと、そこには大きな石が。しかし、石の周りを探してみても赤ん坊はいない。こういつた不思議なことが続きました。いつの間にか声は聞こえなくなりました。

そんなことがあつてから幾月か過ぎ、木々の芽がふくらみ始める頃、おきよは玉のようにかわいらしい子を産みました。

柳沢村の人たちは「神授かりの子だ」「あの沢の石が二人の願いを叶えてくれた。神の宿る石にちがいない」と噂しあい、その大きな石を神として祀ることになりました。ご神体は夫婦が子を授かったので「石子さま」とし、石のあった沢を「石子沢」と呼ぶようになりました。

（参考文献…石子様の由来）



石川あさのさん

いつまでも健やかに… 長寿のお祝い

9月10日と11日に、大津町長が数え年99歳以上になる高齢者の家庭を訪問。88歳の方と99歳以上の方にお祝い金、100歳の方には賀詞を添えてお祝い金を贈呈し、長寿のお祝いをしました。

今年数え年99歳以上となる方は16名。町で最長寿の水戸部志ゆうさん（桜町）は104歳です。皆さんに共通する長生きの秘訣は3食きちんと食べること、身の回りのことを自分ですることのようです。また、皆さん「長生きは家族の支えがあつてこそ」とおっしゃっていました。家族や周囲への感謝を忘れないことも長生きの秘訣かもしれませんね。これからも健康に留意し健やかに過ごしてください。

氏名	性別	数え年	地区名
水戸部志ゆう	女	104	桜町
秋葉なかゑ	女	103	ひまわり荘
渡邊かね	女	102	ひまわり荘
渡邊ツヤ	女	101	達磨寺
渡邊さくの	女	100	達磨寺
東海林エイ	女	100	下川
石川あさの	女	100	梅ヶ枝町
村山きゑ子	女	100	ひまわり荘
金子ぶん	女	99	達磨寺
大内夏子	女	99	川端
黒沼ミツ子	女	99	北小路
工藤ヨスエ	女	99	岡
高橋はなゑ	女	99	土橋
西塔ノブ	女	99	柳沢
久連山進一	男	99	ひまわり荘
石川ワリ	女	99	ひまわり荘



水戸部志ゆうさん (町内最長寿)

金子ぶんさん

東海林エイさん

渡邊ツヤさん

工藤ヨスエさん

黒沼ミツ子さん

渡邊さくのさん

高橋はなゑさん

「長生きは家族の支えがあつてこそ」



第67話 村山郡中議定のはじまり 中山町 歴史散策

村山地方の領有状態は、18世紀後半になると山形藩領の縮小とともに、幕府領、諸藩領及び諸藩飛地領が分散し、現在の中山町も幕府領、天童役所付（のち天童藩）、白河藩山野辺陣屋がみられるなど、入り組み状態が一層複雑になりました。

また、貢租の徴収や政治・経済の統制は領主別に行われるため、商品流通が発達すると領地が錯綜する地域の統制は大変困難な面が多くなりました。

このため、関係領主が統制効果を上げるために、共同して郡中議定を定めたのが安永7年（1778）2月でした。天明3年（1783）は、江戸期最大の大凶作と言われる米穀不足の年でありましたが、総代名主が集まって議定書を締結しました。議定の主な内容は、①酒造りの禁止②穀物その他食物の移出を禁ずるため、口留番所8箇所を設ける③最上川の下り通船に対し改番所を置く④酒田下し荷船の制限などでありました。

この議定で注目すべきことの1つは、各領分代表の名主・大庄屋たちの役割と性格であり、議定はこれらの大庄屋層の署名のもとに締結されています。これは、個別領主の各役人の連合体として統制組織をつくるのではなく、郡内に一定の経済的力を持つ大庄屋の連合に依存して、郡内農村の維持を図ろうとしたといえます。

また、議定書は、天明5年、天明6年と結ばれていますが、そのねらいは、盗賊や無宿者の騒動の防止を図るためでもありました。

【用語の説明】
 議定…合議して物事を決めること。また、その評議。
 番所…警備や見張りのために設置された番人が詰めるための施設。江戸時代、交通の要所に番所が置かれていた。

※参考 中山町史 中巻 第8章第1節 郡中議定の締結と推移

新人戦結果

9月29日、30日（陸上競技10月2日）に東村山地区中学校新人体育大会が行われました。

中山中学校の生徒は、日ごろの部活動の成果を発揮し精一杯戦い抜きました。それぞれの結果は次の通りです。

個人	団体
優勝 水泳男子 200m 自由形 長谷川 凌 陸上男子 1年 1500m 柏倉 元太 第2位 水泳女子 200m 平泳ぎ 石川 瑠莉 柔道女子 70kg級 福武 花恋 （県南ブロック大会出場）	第3位 ソフトボール 橋野・鈴木ペア バスケ女子 俊宜 サッカー 光 ソフトテニス女子 風香 剣道男子 美空 剣道女子 瑠莉
ベスト8	
卓球女子 1年生の部 大津 真央 ソフトテニス男子 縄野・鈴木ペア 柔道男子 66kg級 橋間 俊宜 柔道男子 73kg級 井上 光 柔道女子 57kg級 佐竹 風香 柔道女子 70kg級 西堀 美空 水泳女子 100m 平泳ぎ 石川 瑠莉 （いずれも県南ブロック大会出場）	

青色防犯パトロール活動が始まりました

10月1日、役場駐車場で青色防犯パトロール車（以下、青パト車）の出発式が行われました。



青パト車とは、青色回転灯を装備した自動車です。警察から適切なパトロールを行うことができると認められた団体のみ運行することができます。

青パト車を用いた防犯活動は、車両による広い範囲のパトロールが可能であり、青色回転灯が遠くから見ても目立つことから、犯罪の抑止効果が非常に高いとされています。

町では、公用車4台を青パト車として登録。青パト車を用いた防犯パトロールを強化し、犯罪のない安全・安心な町づくりを推進していきます。

楽天イーグルスふれあいデー



▲120kmの球に挑む信田くん

9月29日、荘内銀行・日新製薬スタジアムに楽天イーグルスジュニアコーチとチアリーダーが訪れ、「楽天イーグルスふれあいデー」が開催されました。

県内各地から小学生を中心に約250名が参加。コーチから投球・打撃・守備のコツなどを教わりました。

「コーチへ挑戦」のコーナーでは、信田拓人くん（長崎小6年）がコーチの投げた約120kmの球を見事に打ち返し、会場には歓声と大きな拍手が沸き起こりました。

また、チアリーダーのダンスに挑戦するコーナーや、楽天イーグルス関連の商品が当たる抽選会なども行われ、イベントは終始盛り上がりを見せていました。



少雨・高温の影響で農作物に被害

◆近年稀に見る少雨

直近30年の記録を見てみると、8月の町の月間平均雨量が128.2mmであるのに対し、今年8月の月間雨量はわずか28.0mm。これは昭和56年の観測開始以来、第2番目に少ない記録となります。（これまでで1番少なかったのは昭和59年の10.0mm）

6月、7月も平年の月間平均雨量を大幅に下回っており、今年の夏は近年稀に見る少雨となりました。

◆追い討ちをかけるように高温が続く…農作物への影響も

6月から8月にかけての少雨による土壌乾燥と、9月中旬まで続いた記録的な高温が障害となり、農作物に様々な影響をもたらしました。

山形農協北部営農センターの安藤指導主幹によると、特にりんごやすもも、西洋なしなど、果物への影響が大きく、実が大きくならない、日焼け果の発生、着色の遅れと様々な被害が出ているとのこと。また、米の品質や秋・冬野菜への影響も懸念され、農業関係者の不安はまだまだ続きそうです。



日焼けしたりんご。ほぼ全ての品種で日焼け果が発生。

広告

ラ・フランス、りんご
新米 つや姫 贈答品 予約受付中!
日替わり 手作り弁当はじめました!

390円

中山町情報・物産館

 ☎ 023-674-0575

●10月26日の風呂の日は!
 大広間イベント午後1時～
中山昔語りの会 によるとんと昔
はなその流竹志乃会 による舞踊披露

ひまわり温泉

 ゆ・ら・ら 会員募集中!
 QRコードからアクセス!
 株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780

強豪選手を相手に奮闘

7月28日から30日に東京都で開催された「第30回全国小学生テニス選手権大会」に、佐藤夏央さん（長崎小6年）が出場しました。

夏央さんは、山形県予選、東北予選とも優勝という好成績で全国小学生テニス選手権へ出場し、ベスト16へ進出。全国から集まった強豪選手を相手に、緊張を感じさせない素晴らしいプレーを見せてくれました。



戸籍の窓口 9月届出分

まちの人口（9月末現在）

人口 12,086人（前月比-22人）
（男5,879人、女6,207人）

世帯数 3,571世帯（前月比+1世帯）

人の動き 出生5人 転入6人
（9月届出分） 死亡8人 転出25人

庭の畑に謎の物体！

9月14日、柴田眞利さん（柳沢）宅の畑で白くて丸い、謎の物体が発見されました。2、3日前に畑を見たときはそのようなものはなかったので、柴田さんは大変驚いたそうです。

謎の物体は5、6個転がっていて、一番大きいもので直径30cmほど。触るとゴムボールのような手触りのこの物体。実は「オニフスベ」というきのこの一種です。「今年は雨が極端に少なかったから出てきたのかなあ」と柴田さん。

この「オニフスベ」、食べられるそうですが残念ながらあまりおいしくないとのこと。



最新の農機が集合

9月1日から3日にかけて、県農機協会主催の「第89回山形農業まつり農機ショー」が、最上川中山緑地で開催されました。

県内外の農機メーカーが最先端の技術を装備したトラクターやコンバイン、田植機、精米機などさまざまな機械を展示。会場は、より効率よく農業を行うため、最新の機械について知ろうと訪れた農業者や、家庭菜園用の機械を求めて訪れた人々にぎわいを見せていました。



TOPICS ひまわり広場



まちのホットなニュースをお届けします！

皆さんの身近な情報や写真をお寄せください
総務企画課情報防災グループまで
電話662-4899

豊田小で避難訓練



9月28日、豊田小学校で地震や校内火災が発生したことを想定した避難訓練が行われました。

児童たちは、教室からグラウンドに避難したあと、地元の消防団の皆さんの指導の下で放水や家族に無事を知らせる手段である災害伝言ダイヤル（NTT）を体験。

児童たちは、万が一に備え真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

中山・山辺町長杯争奪野球大会

9月2日、「第19回中山・山辺町長杯争奪野球大会」が荘銀・日新スタジアムやまがたで開催され、それぞれの町の優勝、準優勝チームの計4チームが参加しました。

優勝は土橋タイガース（6年連続）、準優勝は奥山建設工業。昨年に引き続き優勝、準優勝とも中山町が勝ち取りました。



土橋タイガースと奥山建設工業の皆さん

「芋棒煮」に「秋姫」…中山町の味に大満足

グッチさんの考案したデザート▶

9月19日、NHK BSプレミアムの番組「人情たっぷり 東北ローカル鉄道をゆく2012」（10月15日、16日放送）の撮影が行われ、タレントのグッチ裕三さんが中山町を訪れました。

グッチさんは左沢線フルーツラインに乗り、羽前長崎駅で下車。保健福祉センターを訪れ、町食生活改善推進協議会の小関会長から「芋棒煮」の紹介を受けた後、調理の様子を見学しました。

料理好きで有名なグッチさん。見ているだけでは物足りなかったようで、ご自身も芋棒煮作りに参加。また、自ら考案したすもも「秋姫」を使ったデザートも手際よく完成させました。

その後、最上川に移動して料理を試食。グッチさんは「芋棒煮も秋姫もおいしい」と中山町の味に大満足の様子でした。

